

# 特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく

## 2009 年度事業報告書



特定非営利活動法人  
まちなか研究所

**わくわく**

【 使 命 】 .....	2
【 基本理念 】 .....	2
I. 活動領域 .....	3
II. 2009 年度運営体制 .....	4
1. 会員の現状 .....	4
2. 通常総会の開催 .....	4
3. 理事会の開催 .....	4
4. 常務会の開催 .....	4
5. 事務局体制 .....	5
6. 事務所 .....	5
III. まちわく活動ハイライト .....	6
IV. 事業部総括 .....	8
1. コミュニティ支援 事業部 .....	8
2. ファシリテーター派遣 事業部 .....	9
3. NPO 活動支援 事業部 .....	11
4. 総務部 .....	13

## 【 使 命 】

すべての人々が、自ら暮らすまちを、

想い、考え、納得して

つくっていけるような市民社会の実現

## 【 合言葉 】

みんなで「決めて」みんなが「つくる」そんな社会づくりのために、

まちわくは人と組織を「つなぎ」「話し合う」場と「社会環境」をつくります。

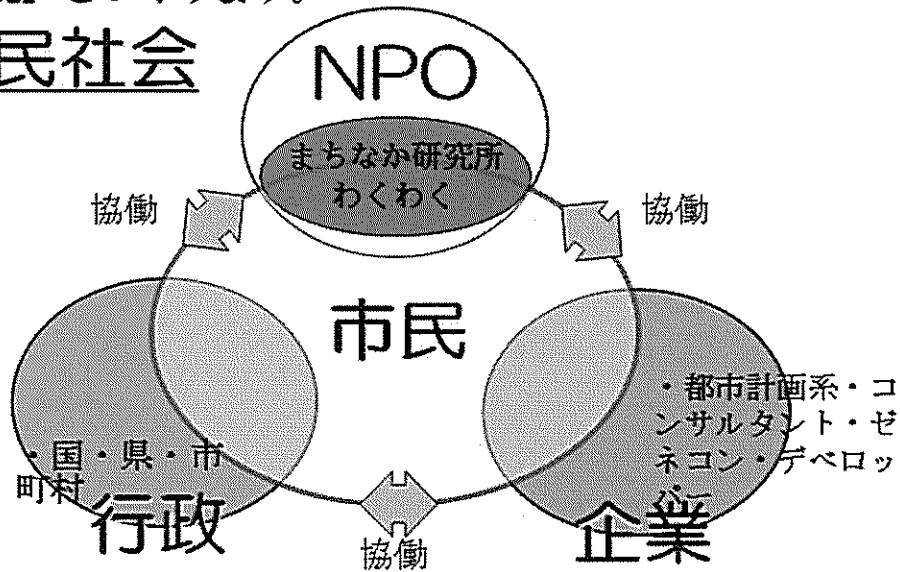
## 【 基本理念 】

- ◆ みんなで決めてみんながつくるまちづくりの活動と活動サポート
- ◆ 市民公益活動を行う団体の活動サポートと市民社会のインフラ整備
- ◆ 参加型の場づくりの企画運営と人材育成
- ◆ 地域の NPO モデルとなるような継続的な市民活動の組織運営

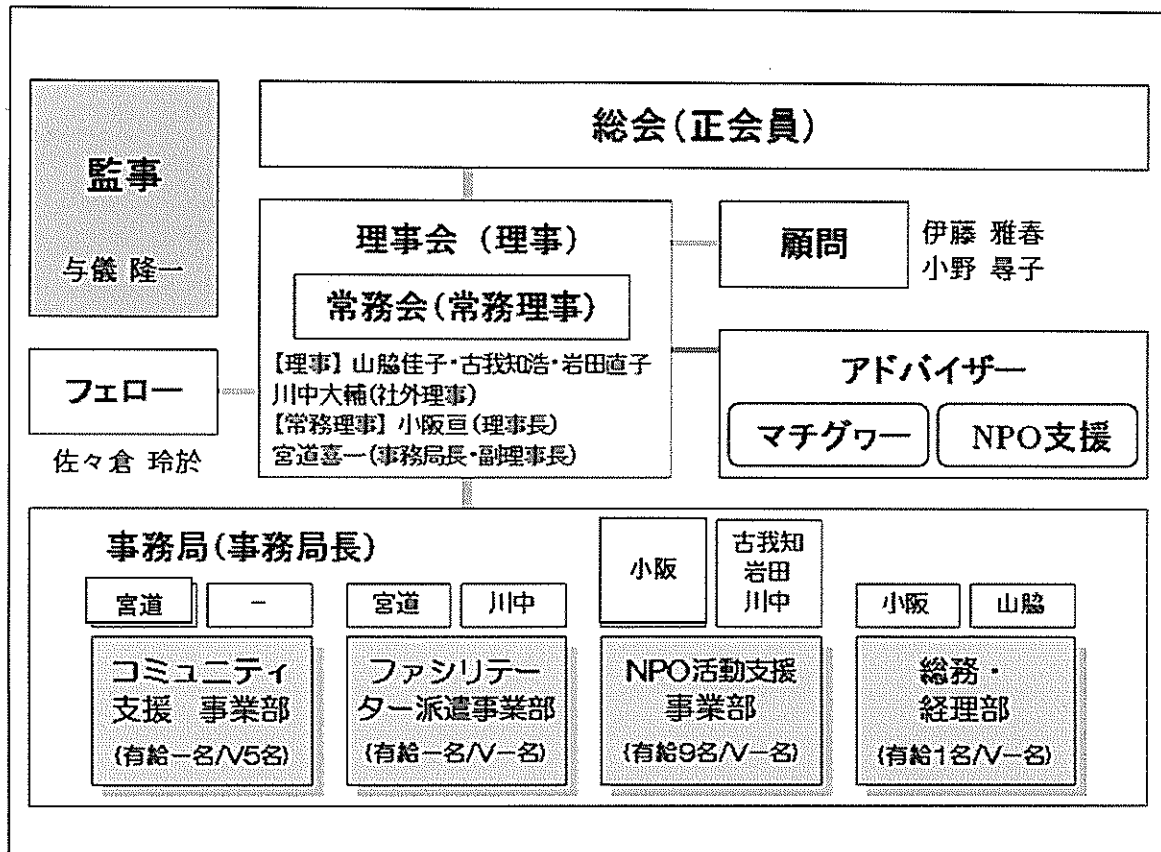
## 1. 活動領域

みんなで「決めて」みんなが「つくる」そんな社会づくりのために、まちわくは人と組織を「つなぎ」「話し合う場」と「社会環境」をつくりまします。

## 市民社会



## Ⅱ. 2009 年度運営体制



### 1. 会員の現状

正会員 13 名／準会員 1 名／賛助会員 0 名／学生会員 0 名

### 2. 通常総会の開催

2009 年 5 月 14 日 (木) 19 時 00 分より 21 時 00 分まで、にぎわい広場 (第二牧志公設市場跡) コミュニティルームにて通常社員総会を開催した。

### 3. 理事会の開催

第 1 回理事会 2009 年 4 月 19 日 (日) 10 時 00 分より 17 時 00 分まで、ティールーム Goo にて 2009 年度第 1 回理事会 (決算理事会) を開催した。

第 2 回理事会 2009 年 11 月 8 日 (日) 17 時 00 分～19 時 00 分まで、那覇市 NPO 活動支援センター会議室にて 2009 年度第 2 回理事会を開催した。

### 4. 常務会の開催

まちなか研究所わくわくの運営に関して随時、常務会を開催した。

2009年

第131回 4月6日(月)

第132回 7月21日(火)

第133回 8月5日(水)

第134回 9月8日(火)

第135回 10月13日(火)

第136回 11月4日(水)

第137回 12月16日(水)

2010年

第138回 1月20日(水)

第139回 2月17日(水)

第140回 3月26日(金)

## 5. 事務局体制

事務局長(宮道喜一)

—○コミュニティ支援事業部(担当理事:宮道喜一)

—常勤:中嶋栄子(8月~3月)

—非常勤:鍋島代子(10月)、玉城枝梨加(10月~2月)、稲住光祐(3月)

—○ファシリテーター派遣事業部(担当理事:宮道喜一)

—○ONPO 活動支援事業部(担当理事:小阪亘 宮道喜一)

—常勤:小阪亘、宮道喜一、下地美香

—インターンスタッフ:

09年4月~10年3月:諸見みどり(エコット)

4月~9月:稲住光祐(沖縄国際大学3年生)、蔵増理沙(琉球大学2年生)

10月~3月:末吉千草(沖縄国際大学2年生)、牧志朝英(琉球大学3年生)

11月~1月:城間秋乃(琉球大学3年生)

2月~3月:親泊正樹(沖縄国際大学4年生)

—○総務・経理部(担当理事:小阪亘)

—常勤:新垣知子(9月~3月)

—○フェロー

—東濱克紀

—稲垣暁

—佐々倉玲於(理事会付け)

## 6. 事務所

主たる事務所の移転(登記変更日 平成21年7月3日)

【旧】沖縄県那覇市牧志三丁目8番28号2F

【新】沖縄県那覇市壺屋一丁目7番20-103号

### Ⅲ. まちわく活動ハイライト

#### 1) 「なはまちつながるプロジェクト」2年目

##### まちつな資料館、まちなか WEB リニューアル

国土交通省事業である「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業の2年目を受託し、「なはまちつながるプロジェクト」を2008年度に引き続き行った。まちつな資料館は企画展を軸とした情報発信を行い、まちなかWEBも資料館と連動したサイトへとリニューアルを行った。



2009年10月1日  
まちつな資料館  
グランドオープン式典

#### 2) マチグワー楽会が任意組織として独立

2008年度に第1回マチグワー楽会を実行委員会形式で開催したが、継続的な取り組みとするため、任意組織「マチグワー楽会」が11月に設立された。発起人である静岡大学の小松かおりさんが運営委員長となり、第2回マチグワー楽会を2月に3日間のプログラムで開催した。第3回の日程も2月11日・12日と決まった。

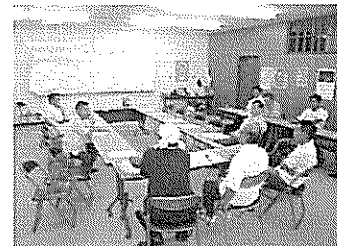


2010年2月19日  
第2回マチグワー楽会—基調  
講演「マチグワーの成り立ち」  
崎間麗進 氏

#### 3) 那覇市中心商店街連合会が再スタート

##### 当会は事務局のサポートへ

休眠状態にあった那覇市中心商店街連合会が6月に総会を開き、役員を一新して再スタートをきった。マチグワーの12の通り会・振興組合が属し、横断的な通り会へのサポートが期待される中、頑張る那覇マチグワー支援基金を連合会が活用し、当会が事務局サポートに入った。連合会は、一通り会では解決が難しいことや小さい通り会、通り会のない通りへのサポートが今後期待されている。

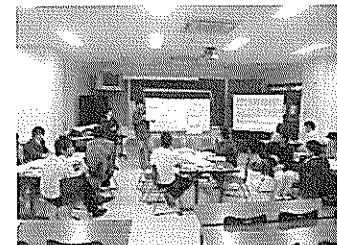


連合の理事会の様子

#### 4) 聴覚障がいを持つ人がいる中でのワークショップ実施

##### ワークショップの手法は情報保障としても有効

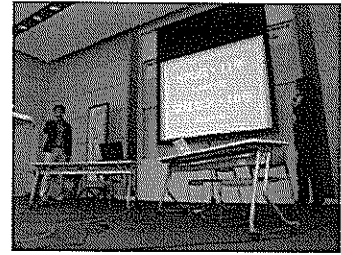
沖縄大学より、第5回聴覚障がい児調査会議の企画・進行依頼を受け、取り組んだ。難聴者が半数いる中での参加型会議は当会としてもはじめてのことであったが、要約筆者や手話通訳者を入れたことや話す前に「書く」という参加型手法によって、普段コミュニケーションを取りにくい人同士の意見交換の場をつくることのできた。



2010年3月  
沖縄大学の講義室にて

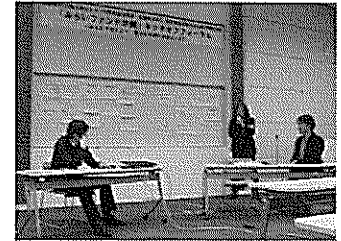
### 5) 那覇市 NPO 活動支援センター指定管理 2 年目、 センター設置 10 周年

当会が指定管理を受けて 2 年目。センター自体は 2000 年に設置されてから 10 周年という節目の年であった。那覇市が市民活動・NPO 支援に取り組んできたことの 10 年をふりかえる「那覇市 NPO 活動支援センター 10 周年記念事業－公益的な NPO、市民活動を支えるための資金支援－「みらいファンド沖縄」キックオフフォーラム～みんなで支えよう。豊かな沖縄の未来のために～」を開催した。



### 6) 公益ポータル勉強会から「みらいファンド沖縄」設立へ

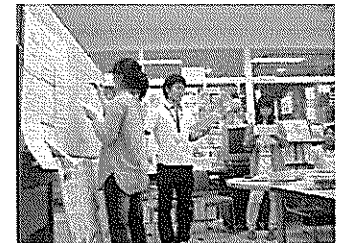
2008 年度より公益ポータルの勉強会を続けてきた流れで、市民の公益的な活動の「資金循環」と「情報発信」を民間で担っていく新団体「みらいファンド沖縄」が立ち上がった。



### 7) インターン受け入れ体制の強化

#### 短期・中期・長期インターンの受け入れ

那覇市 NPO 活動支援センター事業を中心に半年間インターン、3 週間の中期インターン、3 日間の短期インターンの受け入れを行った。インターンによるインターン受け入れ説明会やインターン自身の手による卒業式など行った。



インターンによるインターン  
説明会

# みんなで決めてみんながつくる まちづくりの活動と活動サポート — コミュニティ支援事業部 —

## ●2009年度目標(事業計画書より)

当会設立当初より行ってきた「にぎわい広場関連事業」は、今年度からは実施せず、これまでの取り組みによって生まれた「なはまち連絡会」というネットワークへの支援を行っていく。また、地域情報を収集・発信するという取り組みは当会の継続的な取り組みとして実施していき、まちの変化に対応した情報の発信と参加の場づくりを行っていく。

2010/6/14

## ② 2009年度実施事業

### なはまちつながるプロジェクト(国交省委託事業)(2年目)

#### 1) まちつな資料館の運営

【運営期間】2009年10月1日～3月25日  
【開館時間】10時～19時(水曜日・日曜日定休)  
【来館者数】1080人(2009年10月～2010年3月の6ヶ月)、月平均180人、日平均6人  
【企画展の開催】  
・10月 マチグワァー防災/11月 さようなら那覇市庁舎/12月 マチグワァーの移り変わり/1月 1・17防災とボランティアの日(沖縄大学、NPO、商店街との連携企画)/3月 マチグワァー楽会防災部会報告

#### 2) まちなかWEBの運営

地域情報紙「まちなか現在」から「まちつな資料館」と連動するWEBサイトへリニューアル  
【記事総数】91(イベント情報38/まちの話題11/まちつな資料館39/お店紹介3)  
【全ブログのアクセス総数】1,608(1ヶ月約268アクセス)  
※2010年3月29日現在

#### 3) 第2回マチグワァー楽会の開催

【日時】2010年2月19日(金)20日(土)21日(日)  
【会場】第一牧志公設市場2階、にぎわい広場  
【参加者】来場者:401名/発表者:37組織・人  
【主催】マチグワァー楽会(←任意組織として独立)  
【共催】内閣府沖縄総合事務局、那覇市、第一牧志公設

### まちなか事務局サポート事業

商店街広域連合組織結成支援事業(依頼:那覇市中心商店街連合会)

#### 1) 連合組織の事務局強化

【理事会の進行サポート】  
2009年10月21日、12月7日、1月22日  
【広報部会の進行サポート】  
11月13日、12月9日

#### 2) 各通り会の企画サポート

むつみ橋通り会の企画サポート(11月27日)

#### 3) マチグワァー情報共有化支援

マチグワァーイベントカレンダーの発行(2号)

### 地域情報誌「み～きゆるきゆる」

#### 1) Vol.6(特集:公設市場衣料部・雑貨部)の制作

【ボランティア募集期間】2009年9月  
【オリエンテーション】9月26日(土)参加者7名  
【制作メンバー】9名  
【発行】2010年5月(予定)

#### 2) 販売

【委託】がじゅまるガーデン/とくふく堂/那覇市NPO活動支援センター/桜坂劇場/市内大手書店(琉球プロジェクトを通じて)  
※沖縄教販松尾店は閉店



### ③ 事業ふりかえり

#### ① まちつなプロジェクト2年目終了

「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業によるまちつなプロジェクトの2年目が終了し、3月をもって、まちつな資料館、まちなかWEBは休止となっている。資料館の機能は6月より再開の予定。

#### ② 「マチグラー楽会」が任意組織として独立

第1回マチグラー楽会(2008年度)は実行委員会形式で開催したが、今年度の第2回マチグラー楽会は任意組織「マチグラー楽会」を組織し開催した。第3回の日程も2011年2月と決まった。事務局を当会が担う。

#### ③ 那覇市中心商店街連合会の事務局サポートを行う

マチグラーの通り会の連合組織である「那覇市中心商店街連合会」が2009年6月休眠状態から役員の入替えを行い再スタートを切った。連合会が受けたマチグラー基金を活用し、理事会や広報部会の会議進行サポートや議事録作成などの事務局サポートを行った。連合会が動き出したことで、各通り会へのサポートを担う主体が見えてきた。

### 次年度への課題

#### ① 本事業の継続的な取り組みの方策について

これまでも助成金や委託事業など単年度のしぼりがある中での事業展開であった。継続したスタッフの配置などが行える事業展開と将来ビジョンをつくる必要がある。

マチグラーの変化を受け止め、人がそこで生活できる基盤をつくる事業体(組織)が必要とされている。まちわくがそこでどのようなポジションで今後関わっていくのか。

#### ② マチグラーに見える変化の波

これから10年の間に大きく変化していくと予想されるマチグラーエリアであるが、次年度に向けて以下のような変化が現れている。

- ・にぎわい広場条例の改定
- ・にぎわい広場の指定管理導入
- ・第一牧志公設市場の改修・建替え検討委員会
- ・中心市街地活性化基本計画に代わるマチグラー将来ビジョンの策定
- ・公設市場衣料部2階の撤退
- ・うりずん横町やむつみ橋通り会など活発化する通り会
- ・那覇市中心商店街連合会の事務局強化



### ④ 資源 (人・資金など)

#### ● 人事マネジメント

- ・有給職員(8月～3月:1人)
  - ・インターンシップ(10月～2月:1人、3月:1人)
- 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業によって、常勤職員を1名とインターンシップ1名を配置した。マチグラー楽会をピークに業務量が多く、スタッフの配置とのギャップがあった。
- 企画展やマチグラー楽会など人手が必要な場合には、臨時のバイトを雇うなど一時的なスタッフの補充を行った。

#### ● 資金マネジメント

行政委託に依存しており、委託契約後からしか事業をスタートできない状況にある。これまでも助成金や委託事業を主な資金源としてきたため、年度の変わり目に事業がストップしてしまう状況にある。

今後の取り組み方針と自主財源の造成を考える必要がある。

● 資金内訳	収入	支出	差額
「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業	2,500,787	2,246,291	254,496
まちなか事務局サポート事業 (那覇市中心商店街連合会・他)	441,700	176,070	265,630
地域情報誌「み～きゆるきゆる」	51,468	2,095	49,373
合計	2,993,955	2,424,456	569,499



# 参加型の場づくりの 企画運営と人材育成

## ー ファシリテーター

## 派遣事業部 ー

### ●2009年度目標(事業計画書より)

依頼が増え始めている状態であるが、それに対応できるスタッフが少ない現状である。また、行政職員等からの低賃金での依頼が増えていることもあるため、今年度は積極的に主催講座を開催し、ファシリテーターの育成と資金回収を行っていけるように取り組む。

2010/6/14

## ② 2009年度実施事業

### 研修・講座事業

- 1) NPO活動支援セミナー「市民活動を応援する助成団体シンポジウム」講師(依頼: 沖縄県社会福祉協議会)
- 2) 沖縄県協働推進員研修(NPO視察)(依頼: 沖縄県)
- 3) 市民参加の場づくりに悩む職員のための講座(依頼: 那覇市 都市計画部 都市計画課)
- 4) 新採用職員前期研修「中心市街地の現状と課題」(依頼: 那覇市)
- 5) コミュニティービジネス・社会企業創業講座―地域コーディネーター編―(依頼: NPO法人調査隊おきなわ)

### ファシリテーター派遣事業

- 1) NPO法人なはまちづくりネット社内研修
- 2) 久茂地小学校区自治会地域財産整備事業「自治会のシンボルを考えよう! ワークショップ」(依頼: 久茂地小学校区自治会)
- 3) 第5回聴覚障がい児調査会議(依頼: 沖縄大学)
- 4) にぎわい広場意見交換(依頼: 那覇市なはまち

### 委員派遣

- 1) 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター運営委員(依頼: 沖縄県社会福祉協議会)
- 2) 那覇市社会福祉協議会評議員(依頼: 那覇市社会福祉協議会)
- 3) 災害救援ボランティア推進会議委員(依頼: 那覇市社会福祉協議会)
- 4) NPO助成金選考委員(依頼: 沖縄県労働金庫)
- 5) 「那覇市社協第3次強化・発展計画」策定委員(依頼: 那覇市社会福祉協議会)
- 6) 独立行政法人福祉医療機構「地域活動助成」推薦審査委員(依頼: 沖縄県社会福祉協議会)
- 7) (仮)山内館設立準備委員会委員(依頼: (仮)山内館設立準備委員会)
- 8) 工賃倍増計画支援事業地域ネットワーク会議委員(依頼: NPO法人ふいーるど・ぱわー)
- 9) 沖縄県における共同募金運動のあり方検討委員会委員(依頼: 沖縄県共同募金会)

### ③ 事業ふりかえり

#### ① 依頼数は減、依頼先のバランスは保つ

常務理事3名で対応していた昨年度から常務理事2名体制になり、講座・ファシリ派遣の依頼数は19件(2008年度)→8件(2009年度)と減少した。委員依頼数は横ばい。依頼先はNPO、社会福祉協議会、自治会、行政と幅広く依頼をいただいている。企業からの依頼はなし。

#### ② 市民参加の場づくりに悩む職員のための講座(第2回)を実施

昨年に引き続き、那覇市都市計画課より技術系職員のためのワークショップ講座を開催した。市民参加の場を経験したことのない職員が参加の場づくりを行っていかねばならない現状があり、今後も継続して働きかける必要性が見えた。

#### ③ ファシリテーター養成の主催講座開催できず

事業目標としてたファシリテーター養成のための主催講座を開催できなかった。

### 次年度への課題

#### ① ファシリテーションスキルを持った人材の育成

まちわくの骨格といえるファシリテーションのスキル・ノウハウ・経験を積み重ね、沖縄の社会に発信していくためには、そこを担う人を増やしていかねばならない。

そのためには、以下について検討する必要がある。

- 1) まちわく現スタッフのスキル・経験値アップ
- 2) ファシリ派遣事業でのインターン受け入れ
- 3) 主催講座による外部ファシリテーター養成

#### ② 収益面での戦略が課題

様々な分野から依頼を受けるようになってはいるが、収益性の観点からはまだきびしい。今後、依頼数を増やしていくのか、仕事単価を上げていくのか、収益面での戦略をもった事業展開が必要である。

### ④ 資源 (人・資金など)

#### ● 人事マネジメント

- ・有給職員(0.1人×2人)
- ・インターンシップ(-)

昨年度まで3名の常務理事で対応していた体制から2名の常務理事で対応する1年となった。定期的に入ってくる講座等もあることから、ファシリテーターの養成とインターンの受け入れ等の検討が必要である。

#### ● 資金マネジメント

NPO、社会福祉協議会、自治会、行政からの依頼による資金収入となっている。委員依頼については、社会福祉協議会からのものが多い。

ただし、事業目標としていたファシリテーター養成の自主講座を行うことができず、自主講座収入を得ることができていない。

● 資金内訳	収入	支出	差額
講座・講師・委員派遣	555,768	422,489	133,277
合計	555,768	422,489	133,277

# 市民公益活動を行う団体の 「活動サポート」と 「市民社会のインフラ整備」 — NPO活動支援事業部 —

## ●目標(那覇市NPO活動支援センター指定管理業務)

2008年度:10年間の事業総括及びまとめ

2009年度:「市民フォーラム」の開催等による総括からの次の10年を考える

2010年度:これからの10年に向けての取り組み

## ② 2009年度実施事業

### 那覇市NPO活動支援センター指定管理業務(2/3年目)

#### 「参加と対話のプラットフォーム」

- 1) 来館者数は、10,136人で平均約28人/日
- 3) NPOオフィス「共同空間」 4団体
- 4) 相談件数:167件(団体:150件、個別:17件)
- 5) 人材育成長期(半年・一年)インターン4名  
短期インターン 5名(沖縄国際大学)

#### 「課題解決のためのパートナーシップ」

- 1) NPOマネジメント講座の実施 3回
- 2) アドバイザー派遣 3団体
- 3) 那覇市NPO活動支援センター10周年記念事業
- 4) NPO塾 11回、参加人数 56名
- 5) おきなわ市民活動支援会議(1回/月)
- 6) IHOE協働環境調査

#### 「NPO情報市場」

- 1) 広報誌まちからコラボの発行 3回
- 2) 市民活動団体PV作成事業 年12回取材
- 3) NPOヒトワク紹介事業(FMなはとの協働事業) 54回
- 4) おきなわ市民活動NPO便利帳  
(郵送760団体 掲載団体302団体)

#### 「NPOゆいまるファンド」

- 1) 那覇市NPO活動支援基金助成事業  
ユースコース(高校生・大学生コースの設置)

#### 「企業活力」

- 1) JCフォーラム

### 那覇市「NPO等との協働の手引書(仮称)」案作成支援業務

- 1) ワーキンググループの開催6回  
(11/25,12/22,1/26,2/16,3/16) (学識:2名NPO:6名 行政:6名)
- 2) 協働ミニ講座(12/21) (講師:川北秀人(IHOE))
- 3) 協働シンポジウム  
(3/7, 那覇市職員厚生会館ホール,参加者31名)  
(講師:川北秀人(IHOE))  
パネラー:大城喜江子(NPO法人なはまちづくネット)  
具志堅勝(障害福祉課)  
末吉正幸(市民協働推進課)  
小阪亘(NPO活動支援センター)
- 4) 協働に関するアンケート調査  
アンケート回収率  
行政:254件/2119件(回収率12.0%)  
NPO:52件/110件(回収率47.2%)

### NPO法人会計基準策定プロジェクト全国キャラバンIN沖縄

(依頼:NPO会計税務専門家ネットワーク)  
日時:2009年12月10日(木) 18:30~21:00  
場所 沖縄県総合福祉センター 東棟4階403研修室  
参加人数 76名(NPO:46 企業:2 税理士:8 など)  
参加費 500円(資料代)

### サンフランシスコNPO視察

主催:NPO法人ソーシャル・デザイン・ファンド  
日時:2009年8月31日~9月5日 参加者:小阪亘

## ③ 事業ふりかえり

### ①那覇市NPO活動支援センター10周年事業

指定管理事業の計画で掲げた次の10年のNPO支援の仕組みの提案として「資金循環」と「情報発信」で市民公益活動を支えるみらいファンド沖縄の提案を行い、2010年5月事業開始。

### ②インターンシップの受け入れ

なはセンスタッフをインターンと位置付、那覇市NPO活動支援センターの事業を通してNPOマインドをもった人材育成を実施しており、2年で8名を行った。今年度は、さらに沖縄国際大のインターンシップ実習の受け入れ先となり、5名の大学生を受け入れた。今後は、他のNPOと連携しNPOの人材育成の場としての仕組みをつくる。

### ③行政とNPOの協働の手引書づくり

那覇市では10年来、NPOとの協働事業を行っているが、事業推進のためのマニュアルがなかった。そのため、当広報誌の取材時には、積算や契約時での不満がでていた。今回手引書をつくることによって、那覇市での協働事業を進める為のマニュアルを作成することができた。

## 次年度への課題

### ①第3期の指定管理者の募集について

那覇市NPO活動支援センターの指定管理者業務を2010年度で3年目を迎える。今年度は新たに次の3年の募集のとしてあり、当団体としては次期指定管理者の公募にも手を上げる。そのために決めておくこととしては、

- ・次のテーマの設定(案:NPOセクターにおける人材育成)
- ・次期センター長は、(案:宮道喜一)  
→そのための事業分担をどのように考えるか
- ・次期有給スタッフ  
→

### ②沖縄におけるNPO法人会計基準の普及

全国で行われているNPO法人会計基準策定協議会に当団体が沖縄から参加。中間報告会を実施した。今後、沖縄における普及啓発をどのように進めていくか考える必要がある。

## ④ 資源（人・資金など）

### ●人事マネジメント

- ・有給職員(3人+事務スタッフ0.5人)
- ・インターンシップ(前期4人+後期4人)

今年度は指定管理業務の2年目事業推進の年ということもあり、便利帳の作成、10周年事業の実施、基金のユースコース設置、協働の手引き事業など、多くの事業を行い業務が非常に多くスタッフには多くの負担をかけた。

当団体の総務部門との兼務で0.5人分を増やし、会計や請求業務、労務管理といった部分の負担軽減を図った。

### ●資金マネジメント

行政委託に依存しており、「資金循環」「情報発信」事業で資金造成を図ることを考えていたが、新団体(みらいファンド沖縄)を立ち上げ、独立して事業実施することになった。

そのため、次年度の指定管理業務をとることを考え、残り4年でNPO支援事業の今後の取り組み方針と自主財源の造成を考える必要がある。

●資金内訳	収入	支出	差額
那覇市NPO活動支援センター指定管理業務	17,315,953	16,403,402	915,551
那覇市「NPO等との協働の手引書(仮称)」案作成支援業務	1,420,000	846,906	573,094
中間支援系・資金支援系NPOギャザリング	355,000	135,157	219,843
合計	19,090,953	17,385,465	1,708,488

# 地域のNPOモデルとなるような 継続的な 市民活動の組織運営

## — 総務部 —

### ●2009年度への取り組み

- ・会計担当者の設置
- ・現金管理の複数チェック体制
- ・各種規定の整備

## ② 取り組みと次年度への課題

### 会計担当者の設置

- ・会計担当者の給与を管理費で経常
- ・新垣知子さんを採用

### 現金管理の複数チェック体制の確立

- ・会計担当者を置くことにより、複数チェックできる体制を確立した。
- ・大城税理士事務所と顧問契約を結び月次確認と半期ごとの証憑との突合を行っている。

### 各種規定の作成

- ・就業規則及びまちわくに関わる人々規定を与儀監事とともに作成
- ・旅費規程(稲垣フェローと作成)

### 事務所移転

- ・管理費において地代家賃のしめる割合が大きかったために、他のNPOと共同で事務所を確保。経費削減を行った。

### ■次年度への課題

#### ①総務マニュアルの作成

会計、請求業務、各種保険など業務内容が多様化しているためマニュアル化を行う必要がある。